



横浜市立桂小学校

桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

6月号

令和5年5月31日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校HPのQRコードはこちら→



認め合い、力を合わせて

校長 田島 馨

5月27日(土)、さわやかな青空の元で、令和5年度運動会を開催することができました。4年ぶりとなる、制限の無い形での開催となり、全学年揃ってのプログラムを組んで行いました。当日は、朝早くから多数の保護者の方に御来校いただき、子どもたちが一生懸命に競技や演技に取り組む姿をご覧いただくことができました。本当に良かったと思います。また、PTAや「おやじの会」の方々の御協力により、予定よりも早く進行することができ、本当にありがたく、感謝の念に堪えません。

さて、5月9日(火)の朝会で3つの「C」の話をしました。「chance」「challenge」「change」の「C」です。運動会は、自分をchange(変え・成長)させる challenge(挑戦)ができる chance(好機)であるということです。子どもたちは、まさにこの運動会でそうした姿を体現してくれました。子どもたちが「桂っ子会議」で決めた運動会のスローガンは「力を合わせて限界超えろ 笑顔で輝け運動会」でしたが、自分の限界を超えるまで挑戦し、力を合わせて頑張る姿や、やり切って満足した弾けるばかりの笑顔をたくさん見ることができました。

各学年の競技では、学年それぞれの生き生きとした姿が見られました。1・2年生の玉入れでは、曲に合わせて楽しくダンスをする場面から、曲の中のカウントダウンをきっかけに、玉を投げ入れる様子が良かったです。3・4年生のだるま運びでは、落とさないように協力し、バランスを取りながら走る様子や、走る距離の組合せを考えた作戦が良かったと思います。

5・6年の綱引きは、元から位置について引っ張っているメンバーのところに、コースを走って行って手伝う方法にスリルがあって、見ていてドキドキさせられました。

演技では、それぞれのオリジナリティとともに、動きを合わせる素晴らしさを感じました。1・2年生のきらきら光るポンポン3・4年生の色とりどりの手旗の動きが決まった時には、自然と拍手をし、自分が笑顔になっていることに気付きました。そして

圧巻だったのが5・6年の「桂っ子ソーラン」です。動きを合わせるというよりも、一人ひとりの心を合わせて踊っていることがひしひしと伝わってくる、迫力のある演技でした。



5月30日(火)には「平和教育朝会」を行いました。G7サミットが行われた広島では、78年前の1945年8月6日に原爆が投下され、一瞬で10万人以上の人々が犠牲になりました。また、長崎でも3日後の8月9日に原爆が投下されました。あまり報道はされませんが、実はここ横浜でも大空襲の被害がありました。資料によると、1945年5月29日に、40万発を超える焼夷弾が投下され、多くの建物が焼き尽くされてしまったそうです。記録に残っているだけでも3600人以上が亡くなり、一説によると1万人もの命が奪われたとのこと。朝会ではこの横浜大空襲のこと、広島でサミットが開催された訳や、話し合いで問題を解決していくための取組であることを説明しました。また、身近な場面でも争いは起きることと、その解決のためにはどのような方法が考えられるかを、子どもたちに投げかけました。

各学級では、平和に関する絵本を題材として、平和を考える学習に取り組んでいます。平和な世界をつくっていくためには、お互いのことを認め合い、力を合わせていくことが重要であると考えます。運動会を通して体感した、力を合わせることの素晴らしさをもとに、平和について考えていってくれることを願っています。